

男鹿市商工会

確かなビジョンと実行力で、事業者とともに挑み続ける商工会

重点推進 施策

- 1 職員が一体となったチーム男鹿による個社支援の強化
- 2 実効性のある会員加入促進活動の実施
- 3 観光資源を活用した販路開拓
- 4 関係機関等との連携強化
- 5 自律的に努力し続ける職員の計画的な育成

● 推進にあたっての基本的な考え方

男鹿市商工会は、平成17年4月に旧男鹿市商工会と旧若美町商工会が合併して以来11年が経過しました。この間、男鹿市の地域情勢は大きく変化しており、人口については今後15年で3割減少すると試算され、地域内を主たる商圈とする事業者にとっては事業そのものの継続が難しくなると推察されます。また、本地域は恵まれた自然景観や文化財など観光資源が多く、東北地域における主要な観光地に位置づけられているものの、ここ3年で観光客数が24%減少するなど、低迷している状況にあります。

このような現状を踏まえ、本商工会では、事業者の経営実態や課題を的確に把握し、持続的発展につながる伴走型個社支援を行っていきます。特に、観光を中心とした地域資源を活用する事業者に対しては、観光客をターゲットとした販路開拓支援を展開していくとともに、事業承継や創業支援に力を入れ、地域経済を支える事業者の維持・継続と創出を図っていきます。これらの取組を効果的に進めていくため、行政等関係機関との連携強化や会員増加による商工会の活動強化に努め、成果の最大化が図れるよう体制を構築していきます。

また、職員のスキル向上や事務局体制のあり方検討、中長期財政運営計画の策定に取り組むなど、個社支援に集中できる環境を整備していくことで、「確かなビジョンと実行力で、事業者とともに挑み続ける商工会」を実現していきます。

人口推移(出所:総務省国立社会保障・人口問題研究所) (単位:人)

H17	H22	H27	H32	H37	H42
35,518	32,294	29,284	26,572	23,857	21,229

観光客数(出所:平成28年市勢統計要覧) (単位:人)

区分	H25	H26	H27
宿泊数	161,117	141,668	136,289
日帰り数	2,326,155	2,718,886	1,765,083
計	2,487,272	2,860,554	1,901,372

男鹿市商工会アクションプログラムの構成

戦略1 育て・挑戦を支える商工会

- 施策1 職員が一体となったチーム男鹿による個社支援の強化【重点推進施策】
 - 職員が一体となって会員の実態把握に努めることで、具体的かつ効果的な解決提案を行います。
- 施策2 観光資源を活用した販路開拓【重点推進施策】
 - 男鹿の強みである観光資源を活かした販路開拓支援を展開します。
- 施策3 創業・事業承継への支援
 - 実態を把握し段階に応じた支援を講じることで円滑な事業承継を推進していくとともに、創業しやすい環境を整えることで新たな事業の芽生えを支援していきます。
- 施策4 関係機関等との連携強化【重点推進施策】
 - 他団体との研究会や共同事業、商工会間の広域連携といった取組を強化していくことで事業者に対してスケールメリットを活かした支援が行えるよう検討します。

戦略2 プロ集団の商工会

- 施策5 自律的に努力し続ける職員の計画的な育成【重点推進施策】
 - 職員の公的資格取得の奨励等、スキルアップしやすい環境を整備します。

戦略3 事業者が主役の商工会

- 施策6 実効性のある会員加入促進活動の実施【重点推進施策】
 - 会員・役員が積極的に会員加入促進活動を展開する等、商工会事業への参画意識を高めることで事業者が主役となった商工会運営を実現していきます。
- 施策7 将来にわたり活動の担い手となる人材育成の強化
 - 青年部・女性部が活動しやすい組織体制を構築し、将来の活動につながる事業を積極的に実施します。

戦略4 機動的・効率的な商工会

- 施策8 充実した個社支援のための事務局体制の構築
 - 商工会の機能を十分に発揮し、個社支援に集中できる環境を整備するため、事務局体制のあり方を検討します。
- 施策9 受託業務・地域振興事業の見直し
 - 地域振興事業等の見直しを行い、個社支援につながる事業に再構築します。

戦略5 環境変化に強い商工会

- 施策10 中長期財政運営計画の策定
 - 中長期の財政計画を策定し着実に実行していくことにより、環境変化に耐えうる強い商工会をつくります。

戦略1 育て・挑戦を支える商工会

1 取組内容

■施策1 職員が一体となったチーム男鹿による個社支援の強化【重点推進施策】

職員によるサポートミーティングを行い、個社の経営状況・需要動向の分析を行うことで、本質的(根本的・慢性的)な経営課題を捉え、長期経営改善の視点から伴走型支援を行います。

【主な取組】

- ◆ 経営状況・需要動向の分析、会員ニーズの把握
- ◆ 支援ノウハウの共有化
- ◆ テーマ別巡回の実施

■施策2 観光資源を活用した販路開拓【重点推進施策】

観光関連事業者の販路拡大に向けた観光ビジネスセミナーを開催するなど、観光客ニーズを正確に把握した事業を実施します。

【主な取組】

- ◆ 観光振興に関するセミナー等実施
- ◆ 商品開発や既存商品ブラッシュアップ支援
- ◆ 男鹿DMOとの連携強化

■施策3 創業・事業承継への支援

創業塾に加え、個別相談等によるフォローアップ支援を行い、着実に創業へ導く取組を行います。また、事業承継については、親族内承継にとどまらない多岐にわたる支援を行うことによって、事業継続を着実に促進します。

【主な取組】

- ◆ 商工会広域連携による創業塾の共同開催
- ◆ 創業予定者への定期的なフォロー体制の確立
- ◆ 事業承継ニーズの把握及び支援先絞り込み
- ◆ 事業承継計画書作成支援

■施策4 関係機関等との連携強化【重点推進施策】

男鹿の強みである恵まれた自然環境・景観、豊かな農海産物という地域資源を活用する事業者の発展につなげるため、農商工連携に向けた取組を関係団体や他商工会と連携し、強力で推進します。

【主な取組】

- ◆ 関係機関との事業連携計画の策定
- ◆ 関係機関とのテーマ別研究会の実施

2 工程表

	(1) 個社支援	(2) 販路開拓	(3) 創業/事業承継	(4) 関係機関との連携
事 前	▽職員検討会の実施	—	▽創業塾の開催	—
H29年度	▽経営状況・需要動向の分析 ▽会員ニーズの把握 ▽支援ノウハウの共有化	▽観光に関するセミナー・研修会の実施 ▽商品開発支援 ▽ブラッシュアップ支援 ▽男鹿DMOとの情報交換会の実施	▽商工会広域連携での創業塾の開催 ▽創業予定者へのフォロー支援の実施 ▽事業承継ニーズ調査の実施 ▽事業承継支援先の選定	▽関係機関との事業連携計画の策定
H30年度	↓	↓	▽事業承継計画書作成支援	▽関係機関とのテーマ別研究会の実施 ▽商工会広域連携事業の実施
H31年度			↓	↓
H32年度				
H33年度				

3 評価指標

取組が着実に個社支援へつながったか、そして事業者がどうなったかを評価項目に定め、年度ごとに検証・改善を図ります。

項 目	現状値	目 標 値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
1. 解決提案・実行支援巡回件数	—	420件	780件	1,000件	1,080件	1,200件
2. 観光に関するセミナー等参加者の販路開拓数	—	1件	2件	2件	3件	5件
3. 新商品開発数	—	1商品	2商品	2商品	3商品	5商品
4. 創業支援数 (うち創業者数)	9件 (-)	15件 (2人)	15件 (2人)	30件 (3人)	30件 (3人)	45件 (5人)
5. 連携事業立案数 (うち事業実施数)	—	—	2事業 (1事業)	2事業 (1事業)	3事業 (2事業)	3事業 (2事業)

戦略2 プロ集団の商工会

1 取組内容

■施策5 自律的に努力し続ける職員の計画的な育成【重点推進施策】

多様化・専門化する事業者の経営課題に対して、的確な解決策の提案ができるよう各種資格の取得を奨励するとともに、民間の講習会・セミナーへの積極的な受講を促す等、職員の資質向上を図るための仕組み・環境を整えます。

【主な取組】

- ◆商工会独自の資格取得奨励制度の創設
- ◆商工会独自のセミナー等受講計画の策定及び実施

2 工程表

	(1)資格取得奨励制度の創設	(2)セミナー等受講計画策定
H29年度	▽資格取得奨励制度の創設に向けた検討	▽セミナー等受講計画の策定 ▽セミナー等受講計画の実施
H30年度	▽資格取得奨励制度の創設	
H31年度		
H32年度		
H33年度		

3 評価指標

職員のスキルアップしやすい環境を整備することによって、どれだけの職員の資質向上につながったかを評価指標とします。

項目	現状値	目標値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
1.資格取得受験者数 (うち資格取得者数)	—	2人 (1人)	2人 (1人)	3人 (2人)	3人 (2人)	5人 (3人)
2.セミナー等出席によるスキル アップテーマ数	—	1テーマ	2テーマ	2テーマ	3テーマ	5テーマ

戦略3 事業者が主役の商工会

1 取組内容

■施策6 実効性のある会員加入促進活動の実施

役職員が一体となった会員加入促進活動を展開し、会員間のつながりによる新たなビジネスチャンスの創出や事業者連携、部会活動の活発化といった会員メリットを拡充します。

【主な取組】

- ◆会員加入促進計画の策定
- ◆役職員が一体となった会員加入促進活動の実施

■施策7 将来にわたり活動の担い手となる人材育成の強化

青年部・女性部員が自らの経営や地域の将来につながる活動を自主的に行っていくことのできるような中長期のビジョンを策定するとともに、それに基づいた広域でのテーマ別セミナーや共同事業の実施を積極的に支援します。

【主な取組】

- ◆青年部・女性部における中長期ビジョンの策定
- ◆テーマ別セミナーの実施
- ◆共同事業の実施

2 工程表

	(1)会員加入促進	(2)人材育成の強化
H29年度	▽会員加入促進計画の策定	▽青年部・女性部の中長期ビジョンの策定 ▽テーマ別セミナーの実施
H30年度	▽役職員が一体となった会員加入促進活動の実施	▽共同事業の実施
H31年度	↓	↓
H32年度		
H33年度	↓	↓

3 評価指標

新規会員加入数、青年部・女性部の共同実施事業への参加率を評価指標とし、どれだけ活動強化につながったかを検証します。

項目	現状値	目標値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
1. 新規会員加入者数	7人	10人	10人	10人	10人	10人
2. 青年部・女性部事業への参加(出席)率	—	30%	35%	40%	45%	50%

戦略4 機動的・効率的な商工会

1 取組内容

■施策8 充実した個社支援のための事務局体制の構築

充実した個社支援を展開していくため、業務効率化や仕事の仕方の見直しに取り組んでいくとともに、職員の能力を最大限引き出し、急激な環境変化にも対応できるフレキシブルな事務局体制を構築していきます。

【主な取組】

- ◆業務効率化や仕事の仕方の見直しに係る職員会議の実施
- ◆充実した個社支援のための事務局体制の構築

■施策9 受託業務・地域振興事業の見直し

個社支援につながる事業の新設・再構築を進めるため、事業の費用対効果や利用会員数、PR効果、収益性、個社支援への結び付きを県連合会や全国商工会連合会が提供するマニュアルを参考にしながら検証し、見直しを行います。

【主な取組】

- ◆事業評価委員会の設置
- ◆受託業務・地域振興事業の評価と見直し

2 工程表

	(1)事務局体制の構築	(2)受託業務・地域振興事業の見直し
H29年度	▽業務効率化や仕事の仕方の見直しに係る職員会議の実施 ▽事務局体制のあり方検討会議の開催	▽マニュアルによる分析 ▽事業評価委員会の設置・開催
H30年度	▽新たな事務局体制による個社支援の実施	▽受託業務・地域振興事業の見直し
H31年度	↓	▽受託業務・地域振興事業のスクラップアンドビルド
H32年度		↓
H33年度		

3 評価指標

個社支援を充実させるため、業務効率化等が図られたか、受託業務・地域振興事業のスクラップアンドビルドを評価指標とします。

項目	現状値	目標値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
1.効率化が図られた業務数	－	1事業	2事業	3事業	4事業	5事業
2.事業の見直し数	－	－	1事業	1事業	1事業	1事業

戦略5 環境変化に強い商工会

1 取組内容

■施策10 中長期財政運営計画の策定

事業者の経営課題に対しタイムリーな対応を行っていくためには、迅速に事業を執行する財源を確保していく必要があることから、商工会財政の将来予測による具体的な実績データを中長期に分析し、それに基づいた財政運営計画を策定して環境変化に強い商工会を目指します。

【主な取組】

- ◆ 財政シミュレーションの実施
- ◆ 中長期財政運営計画の策定
- ◆ 理事会並びに役員会での運営計画の管理

2 工程表

	中長期財政運営計画の策定
H29年度	▽財政シミュレーションの実施
H30年度	▽中長期財政運営計画の策定
H31年度	▽中長期財政運営計画の管理
H32年度	↓
H33年度	

3 評価指標

商工会財政の健全性を表す自己財源比率が高まるような取組を進めます。

項 目	現状値	目 標 値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
自己財源比率	—	30%	31%	32%	33%	35%